

第66回九州柔道選手権大会
第34回九州女子柔道選手権大会

要項

1 日 時 令和6年3月3日(日) 受 付 08:30 試合開始 10:00
審判会議 09:30

2 会 場 福岡武道館 福岡市中央区大濠1-1-1 TEL092-714-1900

3 主 催 九州柔道協会

4 主 管 福岡県柔道協会

5 後 援 福岡県 福岡市 福岡県教育委員会 福岡市教育委員会 西日本新聞社

6 参加選手

	男子	女子
福岡県	6名	3名
佐賀県	4名	2名
長崎県	4名	2名
熊本県	4名	2名
大分県	4名	2名
宮崎県	6名	2名
鹿児島県	4名	2名
沖縄県	4名	2名

もし、欠員が生じた場合は主催者一任のこと。

7 出場資格

- 1) 日本国籍を有し全日本柔道連盟に登録していること。
- 2) 各県選出選手はその県に居住・勤務・在学のいずれかを満たし、その県柔道協会から登録していること。
- 3) 卒業、転勤等による実体の伴う現住所の変更、勤務する会社・通学する学校の変更がある場合は変更先の地区から出場することができる。
- 4) 女子は全日本女子柔道選手権大会当日(令和6年4月21日)において中学2年生以上であること。

8 試合方法

- 1) 国際柔道連盟試合審判規定および大会申し合わせ事項で行う。
- 2) 試合時間は5分間とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わず、旗判定にて僅少差をもって勝敗を決する。その基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。
- 3) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」が2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。
- 4) 「指導」による罰則は4回目を与えられた時点で「反則負け」とする。
- 5) トーナメント戦により行う【敗者復活戦は行わない。男子は出場権獲得戦(5位2名を決定)を行う。】。
- 6) 脳震盪について、選手および指導者は下記の事項を遵守すること。
ア. 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
イ. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
ウ. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
エ. 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 7) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- 8) 組合せ及びタイムスケジュールについては、確定次第、福岡県柔道協会のHPにアップする。

9 参加申込み 各県は代表選手を決定し、参加申込書(推薦選手一覧表)・参加回答書(個人票)を2月14日(水)までに大会事務局に提出(郵送)すること。(必着)

10 選手旅費 各県の負担とする。(宿泊費含む)

11 組合せ抽選 主催者により行う。

12 その他

- 1) 男子：優秀選手6名を全日本柔道選手権大会の九州地区代表選手とする。
女子：優秀選手2名を全日本女子柔道選手権大会の九州地区代表選手とする。
- 2) 大会当日は主催者において、出場選手全員に傷害保険をかける。けがについては、応急処置のみ行う。
- 3) 出場選手は全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。

また、必ず柔道衣にゼッケンを縫い付けること。
【参加申込書に記載される個人情報について】

参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、ホームページに掲載される場合がある。
主催者の許諾を受けた企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が配信される場合がある。
また、その他報道機関等により新聞、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
参加申込書の提出により、以後の大会に関する資料については、上記取り扱いの旨承諾を得たものとして対応します。

大会事務局 九州柔道協会
〒810-0052 福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内

TEL 092-714-1558
FAX 092-714-1559